

# 北海道浮魚ニュース

平成 15(2003)年度 12 号 (通巻 No.154)

2003 年 8 月 8 日

北海道立水産試験場

## 平成15年度 北西太平洋サンマ長期漁況海況予報発表される

8月5～6日に塩釜市において,平成15年度北西太平洋サンマ長期漁況海況予報会議が開催され,予報文が発表されましたのでお知らせします。

なお,水産庁のホームページに,より詳細な予報文が掲載されていますので,ぜひご覧ください。

**水産庁ホームページ URL :** <http://www.jfa.maff.go.jp/release/index.html>

### 【漁況予報】 (図1参照)

予測期間 : 2003年8月中旬～12月

対象海域 : 北西太平洋(道東沖から常磐沖)

対象漁業 : サンマ棒受網

#### 来遊量

**来遊量は昨年を上回る。**

#### 漁期・漁場

大型船出漁後の漁場は、道東から色丹島沖に形成されるが漁場は分散する。

**三陸沖の漁場は例年より早い9月中旬に形成される。**

#### 魚体

漁期当初から大型魚の割合が高く、**漁期を通じて大型魚主体の漁獲となる。**

大型魚 : 29cm 以上, 中型魚 : 24 ~ 29cm, 小型魚 : 20 ~ 24cm

## 解説

### 来遊量

本年の6月から,中層トロールおよび流し網を用いて調査を行った結果,東経155度より沿岸側にはサンマがきわめて少ないものの,沖合側には濃密な魚群が確認された。3年間の中層トロール調査の結果がある東経162度以西では,推定資源重量は過去3年で最高の164万トン(前年比131.0%)となった。東経162度以西に分布する魚群のうち,どれくらいの割合の魚群が漁場に来遊するかは明らかになっていないが,順調に魚群が漁場に来遊すれば,推定資源重量の昨年比から昨年を上回る魚群の来遊が見込まれる。

6月の調査結果では東経155度以西でのサンマの漁獲がほとんどなかったことから,沿岸を北上した魚群は非常に少なかったと考えられる。しかし,7月中旬に行われた調査では東経155度以西の調査点でもまとまった漁獲が見られ,7月8日から道東沖で操業を開始した10トン未満船も,当初は漁況が不振であったが7月中旬以降好調な漁獲が続いた。従って,6月の調査で155度以东に分布していた魚群は順次西へ移動しており,その一部は道東から千島列島沖へ到達していると考えられる。

以上のことから**サンマの来遊量は昨年を上回ると考えられる。**

## 漁期・漁場

来遊量の項で述べたとおり，沖合を含めた資源全体の量は多く，その魚群の一部は道東沖まで達していると考えられる。このため初期漁場も引き続き道東～色丹島沖合に形成され，道東の漁場には沖合からの魚群の加入が続くと考えられる。また，道東沿岸は全般に水温の勾配がなだらかであることや魚群が広く分布することから，漁場は分散すると考えられる。

また，現在釧路南東沖と金華山沖に暖水塊があるが，釧路沖の暖水塊はすでに親潮水に取り込まれているため今後勢力が強くなるとは考えられず，金華山沖の暖水塊も沿岸から離れている。また，親潮第1分枝の張り出しや黒潮暖水の位置が南偏していることから，三陸沖に魚群が入りやすい海洋環境となっている。このため，三陸沖(おおむね北緯 41 度以南)における初漁場は，**平年より早めの9月中旬に形成されると予測される。**

## 魚体

中層トロールおよび流し網を用いた調査の結果，東経 162 度以西に分布していた魚群は大型魚が占める割合が非常に高かった。中層トロール調査の結果では，大型魚が約 65%を占めたが，表面水温 13 を境にそれ以下の調査点ではさらに大型魚の割合が高くなり，採集された個体の約 9 割が大型魚であった。13 以上の調査点においても約 50%が大型魚であり，33%が 20cm 以下であった。以上のことから，今漁期に漁場に来遊する魚群は大型魚の割合が非常に高く，**漁期を通じた漁獲物は大型魚主体になると考えられる。**

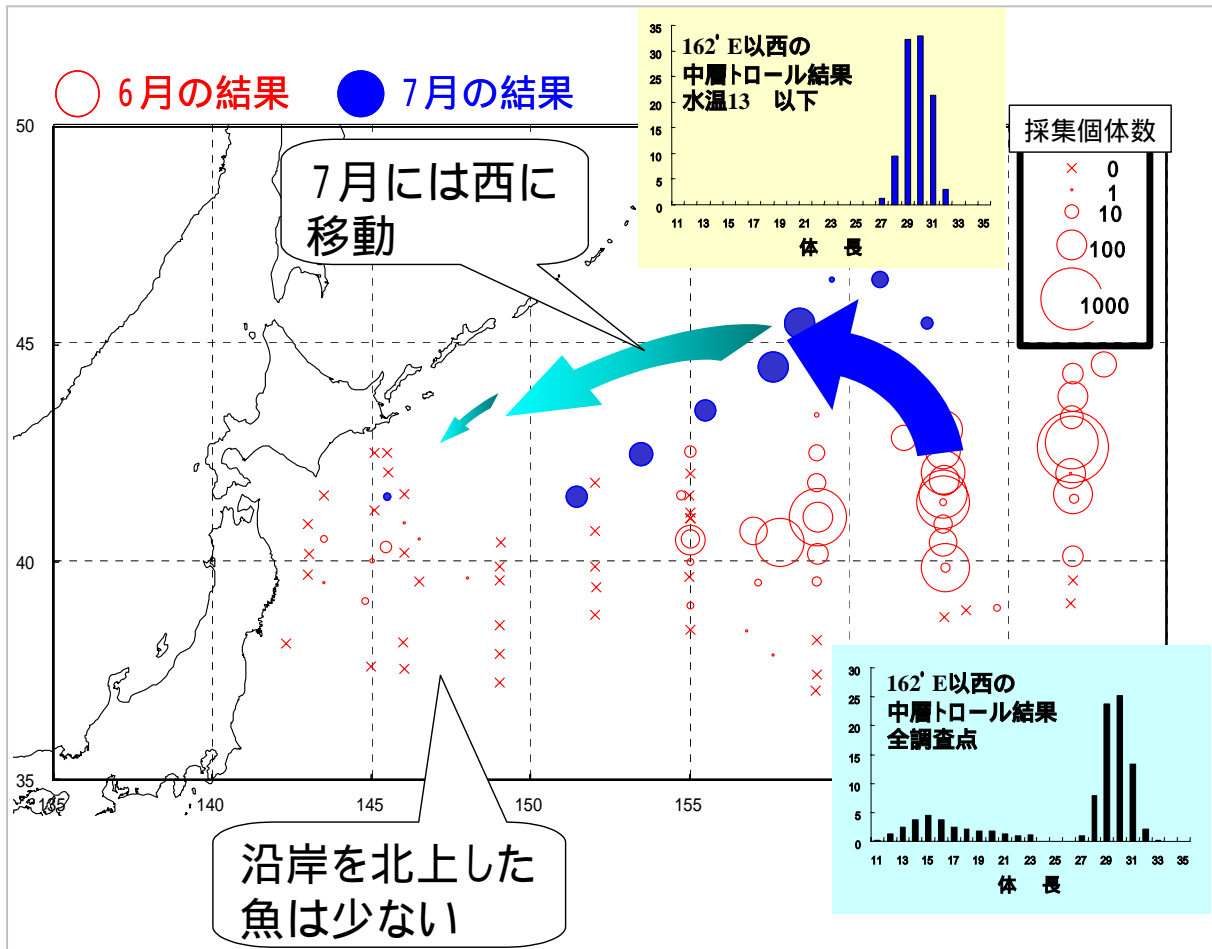


図1 2003年サンマ漁期前調査結果のまとめ。

図中の「●」や「○」は，調査点毎のサンマの採集量を示し，円が大きいほど採集量が多い。「×」は，採集がなかったことを示す。なお，7月は全ての調査点でサンマが漁獲された。

矢印は回遊経路を示すもので，太さは来遊資源量と関係はない。

**【海況予報】** ( 図 2 参照 )

予測期間 2003 年 9 月 ~ 11 月

対象海域 北西太平洋

**黒潮**

近海の黒潮の北限位置は、平年並～やや南偏( 35 ° 30'N ~ 36 ° 30'N )で推移する。

**黒潮系暖水**

黒潮系暖水の北限位置は、近海で平年並～やや南寄りに推移する。

**暖水塊**

釧路南東沖の暖水塊は持続し、金華山沖の暖水塊は西方へ移動する。

**親潮**

親潮第 1 分枝の張り出しは、やや南偏 ( 39 ° 30'N 以北 ) で推移する。

常磐近海には冷水域が残る。

**津軽暖流**

津軽暖流の下北半島東方への張り出しは、平年並～やや強勢 ( 143 ° 20 ' E 付近まで ) で推移する。

「近海」は東経 146 度以西を表す。

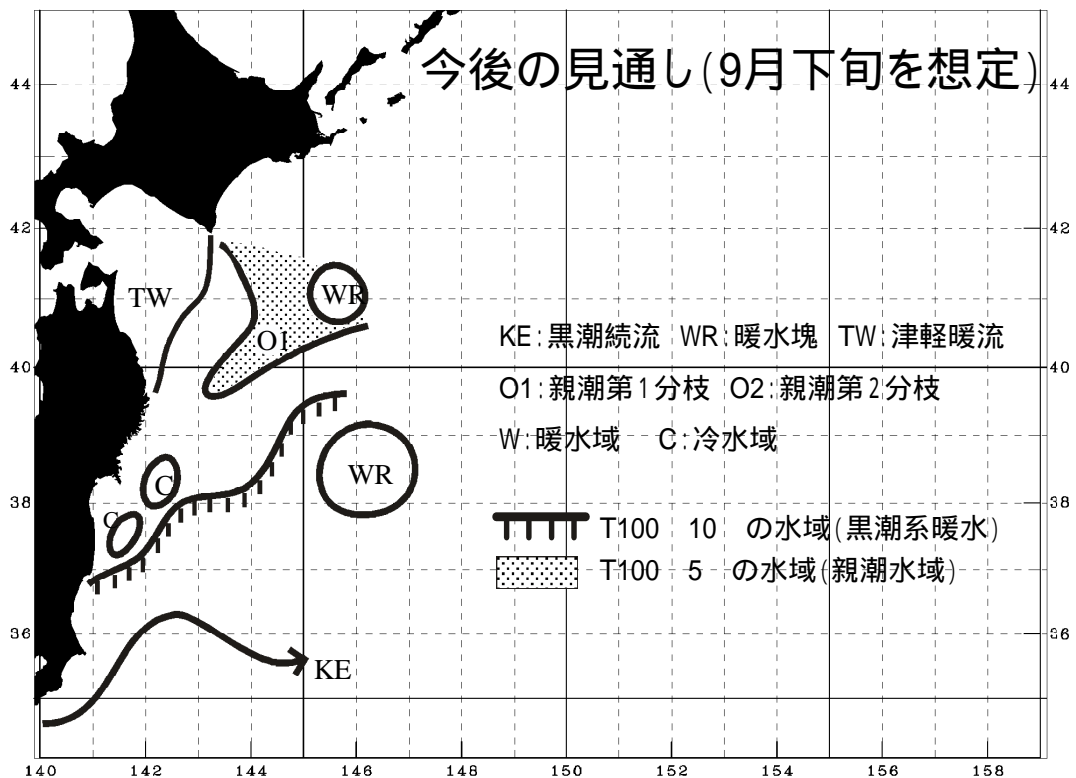


図 2 海況の見通し ( 9 月下旬を想定 )

( 文責 : 釧路水産試験場 資源管理部 , TEL:0154-23-6222 , FAX:0154-23-6225 )